

24年度の決算の概要をお知らせします

平成25年第3回区議会定例会で、24年度の決算が認定されました。一般会計を中心に、概要をお知らせします。

【問合せ】財政課(本庁舎3階)☎(5273)4049・☎(3209)1178へ。

基本目標の達成に向けた主な取り組み

24年度は、20年度からの新宿区総合計画に基づく基本目標(まちづくり編6つ・区政運営編2つ)の達成のために策定した第二次実行計画(計画期間/平成24年度～27年度)の初年度であることから、「将来を見据えた財政の持続性を旨とするともに、喫緊の課題に即応し、基本構想の実現に向けて、第二次実行計画達成の堅実な道筋をつける予算」と位置付け、区政が直面する課題に積極的に取り組みました。

まちづくり編

- 目標1 区民が自治の主役として、考え、行動していけるまち**
○町会・自治会活性化への支援(3587万2千円)
- 目標2 だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち**
○保育園・幼稚園の子ども園への一元化(4億210万8千円)
○情緒障害等通級指導学級の設置(2億1652万4千円)
○女性の健康支援(5491万1千円)
- 目標3 安全で安心な、質の高い暮らしを実感できるまち**
○高齢者総合相談センターの機能強化(1億4539万3千円)
○障害者入所支援施設(知的等)の設置促進(5億8152万円)
○建築物等耐震化支援事業(6億7549万8千円)
○災害用避難施設及び備蓄物資の充実等(8625万5千円)
- 目標4 持続可能な都市と環境を創造するまち**
○区民の低炭素な暮らしとまちづくりへの取り組みの促進・支援(9775万円)
○区民ふれあいの森の整備(2億3718万6千円)
- 目標5 まちの記憶を活かした美しい新宿を創造するまち**
○地区計画等のまちづくりルールの策定(2771万8千円)
○文化の薫る道づくり(3391万8千円)
- 目標6 多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち**
○落合の文化・歴史資源の整備・活用(1億8519万4千円)
○にぎわいと魅力あふれる商店街支援(1億470万1千円)

区政運営編

- 目標1 好感度一番の区役所の実現**
○全庁情報システムの統合推進(1億2780万8千円)
- 目標2 公共サービスのあり方の見直し**
○旧西戸山第二中学校の活用(新宿NPO協働推進センター及びしんえい子ども園もくもくの整備)(4億6051万円)



「新宿区の財政について」冊子にまとめました

区財政の現状と課題を区民の皆さんにお知らせし、今後の財政運営の議論に生かしていただけるよう、冊子を作成しました。10月31日(木)から財政課・特別出張所で配布するほか、区政情報センター(本庁舎1階)・区立図書館で閲覧できます。新宿区ホームページでもご覧いただけます。

財政収支

▶一般会計・特別会計の財政収支(下表1～表3)

24年度は社会保障関連経費として扶助費や特別会計への繰出金などが伸びるとともに、一般財源収入が23年度と比べて減少したことから、経常収支比率が23年度に比べて0.8ポイント悪化するなど、区を取り巻く財政環境は引き続き厳しくなっています。

こうした状況にあっても、区民サービスの向上を進め、喫緊の課題に対応するため、これまで積み立ててきた基金(区の貯金)を有効に活用しました。この結果、一般会計決算の実質収支は黒字になりましたが、実質単年度収支(実質収支から基金の取り崩し・積み立ての影響額と前年度の実質収支を除いたもの)は23年度に引き続き赤字となりました。

表1 一般会計の財政収支(△は減)

項目	24年度	23年度	増減
歳入総額 A	1322億5559万2千円	1344億8129万5千円	△22億2570万3千円
うち特別区税	391億186万3千円	390億5458万6千円	4727万7千円
うち特別区交付金	266億4750万円	264億5737万6千円	1億9012万4千円
歳出総額 B	1288億4111万円	1304億8817万9千円	△16億4706万9千円
形式収支(A)-(B) C	34億1448万2千円	39億9311万6千円	△5億7863万4千円
翌年度に繰り越すべき財源 ※1 D	3億3459万1千円	3620万7千円	2億9838万4千円
実質収支(C)-(D) E	30億7989万1千円	39億5690万9千円	△8億7701万8千円
単年度収支 ※2 F	△8億7701万8千円	△1億6549万3千円	
積立金 G	23億5414万7千円	21億1283万8千円	2億4130万9千円
積立金取り崩し額 H	35億円	35億円	—
実質単年度収支(F)+(G)-(H) I	△20億2287万1千円	△15億5265万5千円	
経常収支比率 ※3 J	88.9%	88.1%	0.8ポイント

※1 明許繰越分(事業が終了せず翌年度に繰り越す事業費)
 ※2 実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額
 ※3 区税などの経常的な収入が、人件費や施設の維持などの経常的支出にどれだけ充てられたかを示す比率。70%～80%が適正水準とされ、この比率が高くなるほど財政に余裕がないことを示します。

表2 一般会計の性質別経費(△は減)

区分	24年度		23年度		前年度比	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	698億円	54.2%	716億円	54.9%	△18億円	△2.5%
投資的経費	92億円	7.1%	117億円	9.0%	△25億円	△21.8%
その他経費	499億円	38.7%	472億円	36.1%	27億円	5.8%
合計	1288億円	100%	1305億円	100%	△17億円	△1.3%

※端数処理の関係で、合計数値や構成比が合わないことがあります。

表3 特別会計の財政収支

区分	国民健康保険特別会計	介護保険特別会計	後期高齢者医療特別会計
歳入歳出予算現額	354億7787万3千円	212億3588万4千円	62億2121万6千円
前年度比(増減率)	14億8505万円(4.4%増)	16億190万8千円(8.2%増)	3億401万8千円(5.1%増)
歳入決算額(収入率)	349億7776万6千円(98.6%)	204億2064万8千円(96.2%)	60億2011万4千円(96.8%)
前年度比(増減率)	14億6227万1千円(4.4%増)	16億6330万8千円(8.9%増)	3億9411万5千円(7.0%増)
歳出決算額(執行率)	345億9705万4千円(97.5%)	200億1994万円(94.3%)	59億9413万4千円(96.3%)
前年度比(増減率)	15億9781万円(4.8%増)	14億8726万7千円(8.0%増)	3億9101万6千円(7.0%増)

▶基金・区債の現在高(右表4)

区債の償還が進んだことにより、区債現在高(区の借金)は14年連続で減少し、243億円となっています。24年度末の基金現在高は384億円で、依然として区債現在高を上回り、区財政は将来の需要への一定の対応力を確保しています。しかし、区財政を取り巻く財政環境が厳しい中で、将来にわたり安定

表4 基金・区債の現在高(△は減)

項目	24年度末	23年度末	増減
基金現在高	384億円	419億円	△35億円
区債現在高	243億円	248億円	△5億円

した財政基盤を確保するには、より一層、効果的・効率的な財政運営が必要です。

健全化判断比率

自治体の財政状況を早期に把握し、破綻を防ぐことを目的に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」では、自治体財政の健全度を測る4つの指標(実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率)を定めています。

24年度決算では、4指標すべてで国の定める基準(早期健全化基準)を下回り、区の財政が健全であることを示しています。

健全化判断比率(△は減)

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
新宿区	—	—	△0.8	—
(参考) 早期健全化基準	11.25	16.25	25.0	350.0

※24年度決算は、すべての会計で実質収支が黒字となったため、実質赤字比率・連結実質赤字比率は算出されませんでした。また、区の借金の残高等よりも基金等区の将来負担額を解消する財源の方が多かったため、将来負担比率も算出されませんでした。